

●5月は青少年奉仕月間です。

室蘭北ロータリークラブ会報

Rotary



むらんど

室蘭岳



インスピレーションになろう

2018～2019年度 国際ロータリーテーマ

BE THE INSPIRATION

「インスピレーションになろう」

2018～2019年度 RI会長 パリー・ラシン

2019年5月21日(火) 第2280回 例会

第2510地区 日本 (DISTRICT 2510 JAPAN) ●会長: 菅原 正明 ●幹事: 小野寺浩二 ●編集: クラブ管理運営委員会

本日のプログラム

卓話「どんなあなたも光ってる」

北海道大谷室蘭高等学校
校長 竹本 将人 様(室蘭東RC)
クラブ管理運営委員会

本日献立 洋食ランチ (メンチカツサラダ添え、ライス、スープ、デザート)

次回の予定プログラム

夜間卓話「クラブフォーラム」

クラブ管理運営委員会
青少年奉仕委員会

次週献立予定 洋食 (洋食弁当)



ニコニコBOX

山口雄平 (撮りフェスin室蘭エントリー開始しました。皆様今年もご協力お願いします)
菅原正明 (室蘭ロータリークラブで卓話をしてきました。楽しかったです)
西野義人 (5/12西野製作所野球部は初の公式戦5回コールドで初戦勝利しました。これからも応援よろしくお願いします)
川本康裕 (先月地区ローターアクトの交通安全運動で千歳空港から札幌コンベンションセンターまで同行してきました)
菅原義男 (地区職業奉仕セミナーに参加してきました)
宮本一章 (栄高校野球部春季大会無事に一回戦突破しました)
廣瀬禎 (初めてRAC例会に参加してきました。若いうちがいいですね)
笹谷豊明 (カフェトークに掲載されました)
土井伸 (結婚記念日にあたり)

出席報告

会員数	49名	出席者数	33名
出席免除者数	2名	欠席者数	15名
出席義務者数	47名	出席率	68.76%

前回例会の報告

第2279回 (5月14日) 例会記録

本日のゲスト

BROCKEN
地域おこし協力隊 佐藤 大輔 様

会長報告

- ガバナーエレクト事務所より
川本会員に委嘱状が届いておりますのでお渡しいたします。

幹事報告

- * ポリオプラス募金一人100円とワンコインニコニコBOXのご協力をお願い致します。

副幹事報告

- 例会終了後、第1回次年度理事会がございます。関係者はお集まりください。尚、第2回次年度理事会は6/4例会終了後を予定しております。

委員会報告

- 青少年奉仕委員会 樺澤哲也委員長より
蘭東少年野球大会のお知らせ
日時: 5/19 (日) 10:00~
場所: 日の出グラウンド
クラブフォーラムについて
日時: 5/28 (火) 18:30~
場所: ホテルサンルート室蘭
青少年奉仕委員会主催のクラブフォーラムは、今年度の事業報告ならびに次年度に向けての事業計画の発表です。

各種記念日



誕生記念日	菅原 悦子 会員	5月16日
結婚記念日	加藤 栄吉 会員	5月20日

- 例会場 ホテルサンルート室蘭
- 例会日 毎週火曜日 12:30 P.M.
- 事務所 室蘭市中島町2丁目28-6
- 電話 0143-45-6569 ●FAX 0143-50-6578
- URL <http://murokita-rc.org/>
- E-mail mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp



卓話「編集者が見た室蘭」

BROCKEN
地域おこし協力隊 佐藤 大輔 様
クラブ管理運営委員会

みなさんはこの室蘭というまちに対して、どんな思いを持っているのでしょうか。私は18歳で高校卒業と同時に室蘭を離れ、大学卒業後は札幌で旅行会社・旅行雑誌の編集と観光業に携わり、2018年11月に戻ってきたUターン組です。今回は貴重な機会をいただきましたので、「①編集者という生き物」「②編集者が見た室蘭」について、ご紹介させていただきます。

①編集者という生き物について

「楽観的に考え・悲観的に計画し・楽観的に実行せよ」。現KDDI創業者の稲盛和夫氏の言葉だそうです。じゃらんの記事を編集するに当たって、私にはこの言葉が金言と感じられました。それは編集者の業務フローが下記の通りそのままこの言葉に当てはまるからです。

■楽観的に考える

企画の「種」は、何気ない友人との会話や、自分の趣味など面白おかしいことに端を発することがよくあります。それ自体はなんの問題もありませんし、種は多いほど実が成る可能性が高まります。

■悲観的に計画する

さて、大いに集まった種ですが、実はそのほとんどはどこか欠陥を抱えています。楽観的な思いつきを含んでいるのでこれは当然です。その中でもスジの良さそうな企画を見つけたら、それを実現するために解決すべき事柄と解決するために必要な行動を、徹底的に洗い出します。「悲観的」とはマイナスの言葉ではなく、実現するためにやるべきことを明らかにする前向きな行動につながる言葉なのです。

■楽観的に実行する

さあ、やるべきことはもう見えています。あとはどんなに作業ボリュームが多くても、どんなにスケジュールがキツくても、手を動かしてさえいけばいつか本になります。これだけ準備したのだから、なんとかなる!と信じて校了まで走ります。

…これが私が考える編集者という生き物とその生



●プロフィール

昭和57年、室蘭市生まれ。
北海道文教大学卒業後、(株)JTB北海道、世界一周、
(株)リクルート北海道じゃらん営業部・編集部。
平成30年4月、個人事業化し、室蘭のPRのため帰蘭。
同年11月より縁あって「地域おこし協力隊」に。

②編集者が見た室蘭

「室蘭=10、小樽=5、函館=1」。これは各港町が保有する展望台の数です。いかに室蘭が景観に恵まれた場所かを端的に示しています。また、人間が旅行に求める5大要素であるグルメ・レジャー・絶景・お土産・温泉を見ても、内容の強弱こそありますが、室蘭は5つ全てを保有しているまちです。こういうまちは実はそんなに多くありません。

室蘭を「なにもないまち」という人がいますが、それは知られていないからです。知られていないから記事での紹介の土俵に上がりにくいのです。

室蘭がなによりすごいのは、既にある観光資源をそれほど磨かずとも、これまで生活してこれたことです。

観光をきっかけに、住民も観光客ももっと室蘭が好きになるように、引き続き活動してまいりますので、引き続きお力添えのほどよろしくお願いいたします。

